

- 国土交通省黒部河川事務所は、令和7年5月上旬より愛本堰堤左岸沈砂池に例年より多い砂の流入が一定期間継続したことについて、施設所有者である富山県新川農林振興センター、施設使用者である北陸電力(株)新川水力センターと情報共有を行いながら調査した。
- その結果、今回発生した砂の流入は、出洪水時に流下した砂が、局所的に土砂堆積しやすい場所である愛本堰堤の上流付近で堆積し、それが春先の小規模出水により左岸用水取水口に移動したことにより、例年よりも多く左岸沈砂池に流入したものと推測された。
- 今後は、河川管理者である国土交通省、愛本堰堤の施設所有者である富山県、施設使用者である北陸電力(株)が情報共有を密に行いながら、連携して必要な対策を実施する。

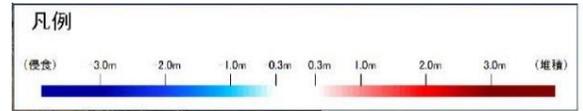


# 愛本堰堤左岸沈砂池への砂流入に係る調査結果と今後の対応について

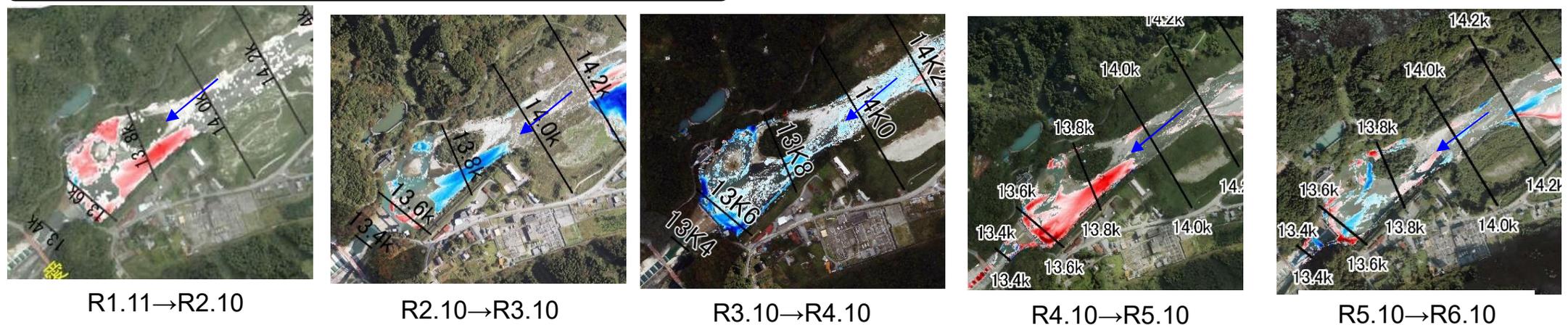
## ① 愛本堰堤上流付近の経年的な河床変動状況

- 愛本堰堤上流部は、土砂の堆積と洗掘を繰り返している。
- 近年では、堆積した土砂が令和3年・令和4年で一旦洗掘され、令和5年で再度堆積している。

※赤が堆積、青が洗掘

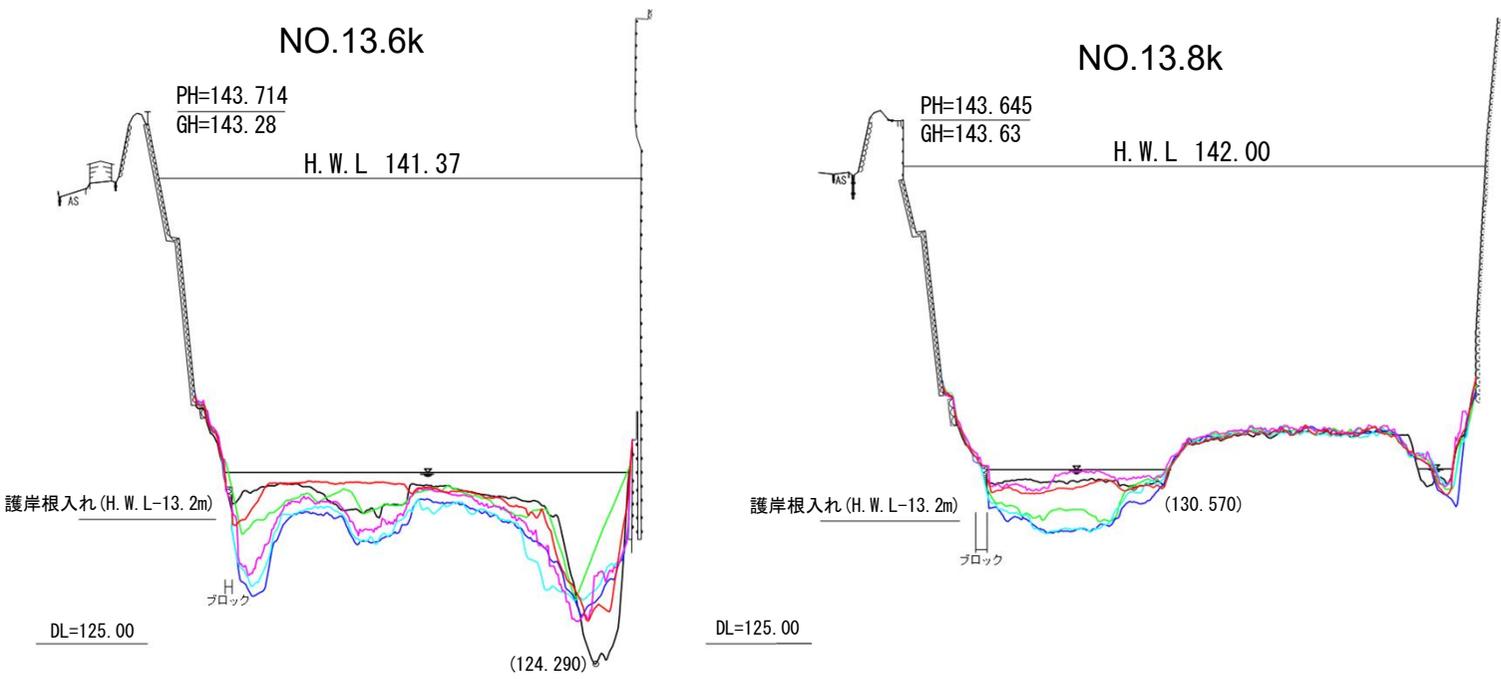


### 愛本堰堤上流における河床測量結果の標高差分図



### 測量横断図

※R1からR6測量の重ね合わせ



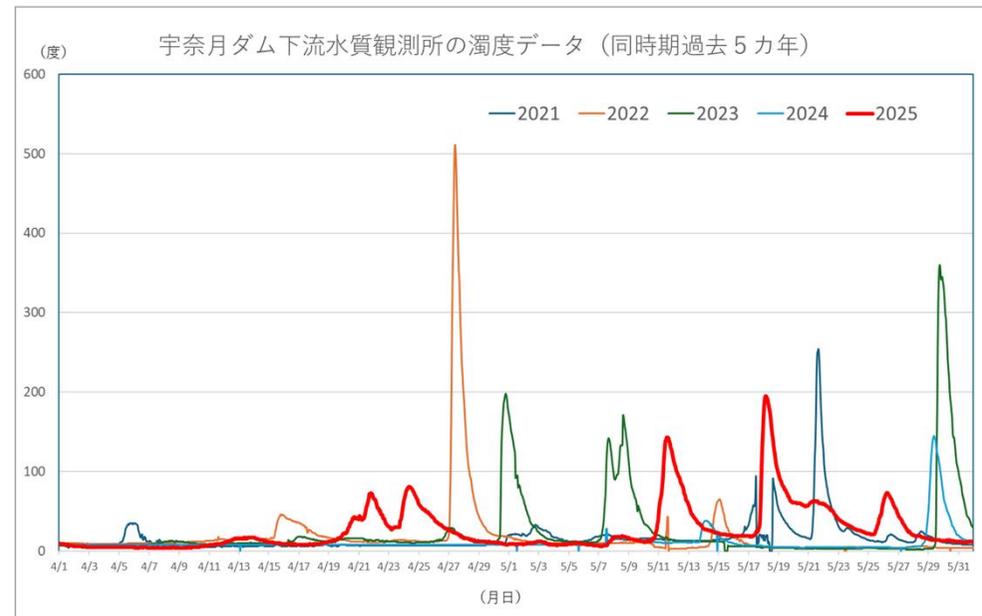
凡例	
R06年度	——
R05年度	——
R04年度	——
R03年度	——
R02年度	——
R01年度	——
最深河床高	(000.00)

# 愛本堰堤左岸沈砂池への砂流入に係る調査結果と今後の対応について

## ② 河川の濁りについて

- 砂の流入がはじまった5月上旬頃からの宇奈月ダム下流の濁度は、例年と同程度で推移。
- 定点写真では、愛本堰堤の直上流左岸側で濁りが確認できるが、その上流では顕著な濁りは確認できない。

### 宇奈月ダム下流の濁り



### 定点写真

2025.5.7撮影



【堰堤上流左岸より】



【堰堤左岸取水口】



【音沢橋より下流】



【旧山彦橋・山彦橋】

※左岸側で濁りあり。取水口に流入。

※上流では顕著な濁りは発生していない。

# 愛本堰堤左岸沈砂池への砂流入に係る調査結果と今後の対応について

## ③ 流入した砂の性状について

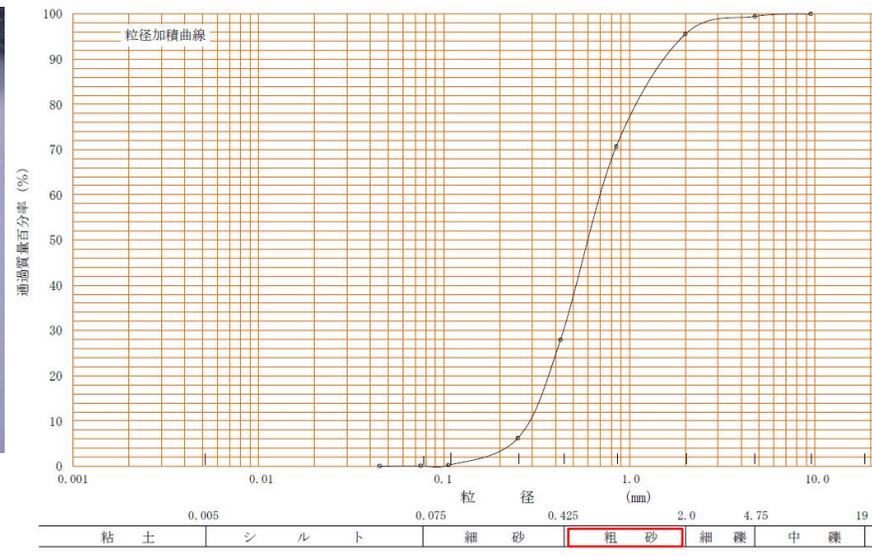
- 左岸沈砂池に流入した砂は、主に粒径0.425～2mmの粗砂に分類される「川砂」であり、濁り成分となるウォッシュロード（粒径0.2mm以下）よりも粒径が粗い。このことから、通常運用時のダム上部ゲートから下流に流れたとは考えにくい。



【左岸沈砂池から排砂された砂】



【採取した砂】



### 【まとめ】

- 愛本堰堤の上流部は、土砂の堆積と洗掘を繰り返しており、近年では、一昨年令和5年に土砂が多く堆積している。
- 左岸沈砂池に砂の流入がはじまった5月上旬頃は、愛本堰堤上流の左岸側に濁りが見られるが、その上流では顕著な濁りは確認できなかった。
- 左岸沈砂池に流入している砂は、主に粒径が0.425～2mmの粗砂に分類される「川砂」であり、この時期に宇奈月ダム上流域から到達したとは考えづらい。
- 以上のことから、今回の左岸沈砂池に流入した砂は、局所的に土砂が堆積しやすい場所である愛本堰堤の上流付近で堆積したものが、春先の小規模出水により左岸用水取水口まで移動し、流入した可能性が高い。

## 【今後の対応】

### ○施設所有者・使用者(富山県、北陸電力(株))

適正な取水を行うための施設管理と取水機能維持のための貯水池管理の継続実施

- ・出水時等における的確な取水管理
- ・左岸沈砂池での土砂堆積状況に応じた排砂
- ・左岸取水口前の状況把握とゲート放流による土砂堆積抑制 等

### ○河川管理者(国土交通省)

黒部川上流域や河道内の継続したモニタリングと治水・河川環境への影響が危惧される箇所での必要な対策の実施

- ・黒部川上流域における崩壊地等の状況把握
- ・河川域での状況把握
- ・維持的な河道掘削の実施、堰堤上流における土砂堆積抑制対策の検討 等

※ あわせて、連携排砂実施機関においても、引き続きより自然に近い形で土砂を下流に供給するための検討を実施する。

※ 本資料に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

担当窓口：黒部河川事務所 副所長(技術)

電話 0765-52-1122